

国の債権に係る情報の公表

法務省（登記特別会計）

歳入金債権の発生額及び消滅額等の推移

(単位:百万円)

	平成20年度								平成21年度								平成22年度															
	管理対象債権額				消滅額				管理対象債権額				消滅額				管理対象債権額				消滅額											
	前年度以前発生未消滅債権分		本年度発生分		前年度以前発生分		本年度発生分		前年度以前発生未消滅債権分		本年度発生分		前年度以前発生分		本年度発生分		前年度以前発生未消滅債権分		本年度発生分		前年度以前発生分		本年度発生分									
					うち 不納欠損額		うち 不納欠損額						うち 不納欠損額		うち 不納欠損額						うち 不納欠損額		うち 不納欠損額									
合計	1,075	1,075	-	-	1	1	-	-	-	1,156	1,130	-	-	26	2	2	2	0	-	1,186	1,168	-	-	17	0	0	-	-	-			
備考	主な歳入金債権 ・損害賠償金債権 400 ・利息債権 600								主な歳入金債権 ・損害賠償金債権 - ・利息債権 0								主な歳入金債権 ・損害賠償金債権 400 ・利息債権 682								主な歳入金債権 ・損害賠償金債権 401 ・利息債権 683							
					・損害賠償金債権 -								・損害賠償金債権 1								・利息債権 0											
					・利息債権 0								・利息債権 1								・延滞金債権 0											

※消滅額の項中「うち不納欠損額」は、歳入徴収官事務規程(昭和二十七年大蔵省令第四百十一号)第二十七条第一項各号に該当する金額の合計額であり、消滅額の内数。

歳入金債権の年度末現在額の推移

(単位:百万円)

債権の種類 (款)雑収入	平成20年度末現在額										平成21年度末現在額										平成22年度末現在額									
	一般分(徴収停止分を除く。)						徴収停止分				一般分(徴収停止分を除く。)						徴収停止分				一般分(徴収停止分を除く。)						徴収停止分			
	本年度発生債権分		前年度以前発生債権分		合計		本年度発生債権分	前年度以前発生債権分	本年度発生債権分		前年度以前発生債権分		合計		本年度発生債権分	前年度以前発生債権分	本年度発生債権分		前年度以前発生債権分		合計		本年度発生債権分	前年度以前発生債権分						
	履行期限 到来額	履行期限 未到来額	履行期限 到来額	履行期限 未到来額	履行期限 到来額	履行期限 未到来額			履行期限 到来額	履行期限 未到来額	履行期限 到来額	履行期限 未到来額	履行期限 到来額	履行期限 未到来額			履行期限 到来額	履行期限 未到来額	履行期限 到来額	履行期限 未到来額	履行期限 到来額	履行期限 未到来額			履行期限 到来額	履行期限 未到来額	履行期限 到来額	履行期限 未到来額		
(項)雑収入	1,074	-	-	63	528	63	528	-	483	1,154	-	26	61	293	61	320	-	772	1,185	3	14	87	307	91	322	-	772			
(目)物件使用料債権	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	0	-	-	-	0	-	-			
(目)費用弁償金債権	9	-	-	-	9	-	9	-	-	9	-	-	-	9	-	9	-	-	9	-	9	-	-	-	9	-	-			
(目)返納金債権	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26	-	-	26	-	26	-	-				
(目)延滞金債権	64	-	-	0	47	0	47	-	17	65	-	0	0	38	0	39	-	25	64	-	-	0	38	0	38	-	25			
(目)損害賠償金債権	400	-	-	31	188	31	188	-	180	398	-	3	30	94	30	97	-	270	401	3	-	30	97	34	97	-	270			
(目)利息債権	600	-	-	31	282	31	282	-	285	680	-	22	30	151	30	173	-	476	683	-	5	30	171	30	176	-	476			
合計	1,074	-	-	63	528	63	528	-	483	1,154	-	26	61	293	61	320	-	772	1,185	3	14	87	307	91	322	-	772			

※1 計数はそれぞれ単位未満切り捨てによっているので、端数において合計とは合致しないものがある。

※2 百万円未満の計数がある場合には「0」で表示し、該当計数が皆無の場合には「-」で表示している。